

海賊対処行動派遣部隊がソマリア沖・アデン湾に向け出航
～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第 51 次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動に赴く第 51 次派遣海賊対処行動水上部隊の出国行事が 6 月 1 日に開催され、護衛艦「はるさめ」が長崎県の佐世保港から出航した。

小澤誠艦長が指揮を執る「はるさめ」には、ソマリア周辺海域派遣捜査隊を編成する松原寛章隊長以下海上保安官 8 名を含め、約 200 名が乗り組み、現在活動中の第 50 次隊の護衛艦「あさひ」と交代する。なお、同艦は中東地域における情報収集活動も兼務することとしている。

式典では清水徹護衛艦隊司令部幕僚長が、「最近再び海賊が増加しているが、海賊対処行動の成果は、日本船主協会はもとより、国内外から高い評価を受けており、これは先輩が任務にまい進した成果である。小澤艦長の掲げる「プロフェッショナル」のモットーのもと、全員一丸となって任務遂行することを期待する」と自衛艦隊司令官訓示を代読した。

彼末浩明海上保安監は、「海賊は減少傾向であったが、昨年、今年と再び発生している。海域は高い緊張状態であるがあらゆる困難を克服していくものと思っている」と挨拶した。

当協会からは土屋副会長が「船舶の護衛を宜しくお願いします」と活動への期待を込めて挨拶した。

小澤艦長は、「乗員が一丸となって任務にあたります。これより出港します」と出港報告し、乗艦した。

出国行事には土屋副会長、平尾常務理事、NS ユナイテッド海運 斎藤海務チームリーダー、川崎汽船 三好安全運航チーム長、伊藤チーム長、日本郵船 進藤海務グループ長、三菱鉱石輸送 池田安全・環境・品質保証グループ長のほか、国際船員労務協会および全日本海員組合が出席した。

晴天の岸壁において、出席者一同は任務に向かう護衛艦「はるさめ」の航行安全と乗員の無事を祈りつつ見送った。

出国行事



清水護衛艦隊司令部幕僚長



彼末浩明海上保安監



出国報告を行う小澤艦長



挨拶する土屋副会長



登舷礼で出航する「はるさめ」





出航を見送った参加者